

# べた掛け用不織布の効果確認試験



5.15(左サンライズ、右パオパオ)



5.15(サンライズ継ぎ目)



5.21降雨後(左サンライズ、右パオパオ)



5.22降雨後(左サンライズ 右パオパオ)



5.22降雨後(左サンライズ、右パオパオ)

## 試験目的

べた掛け作業省力化に向けた不織布の効果確認

## 試験作物及び品種

早出し馬鈴薯(男爵)

## 試験資材及び数量(規格)

サンライズ  
(5.0m×100m) 2本

## 慣行資材

パオパオ

## 栽培方法

播種日  
4月下旬

収穫日  
8月中旬

【栽植密度】  
畝幅：72cm  
株間：30cm

## 資材使用期間

4月下旬～6月上旬

## 試験区面積

1000㎡



## 試験結果

### (1) 作業性について(慣行品との比較)

べた掛け作業はパオパオと変わらなかった。

### (2) 作物の生育状況または、収穫への影響

収量調査は実施していないが、生育や収量で大きな差はみられなかった。

空間(土上と不織布の間)の温度が日中に55℃～60℃近くまで上がっていたが、サンライズ、パオパオともに葉焼けの発生はなかった。

降雨後のサンライズは、パオパオより乾きが遅かった。また、土の表面乾燥もサンライズが若干遅かった。

### (3) 資材の強度・耐久性・崩壊性について

サンライズ、パオパオとも展張時や使用中に破けることはなかった。

強風による剥がれはなかった。また、継ぎ目からの裂けや破けもなかった。

※今回、鹿による横断跡を確認できなかったため、破れ具合の確認はできなかった。

### (4) 保温効果について

土中(5cm)→日中(朝～昼頃)の温度上昇はサンライズが高く推移したが、夜温については、ほぼ同等で推移した。

空間(土上と不織布の間)→日中(朝～夕方)の温度上昇はパオパオが高く推移したが、夜温については、サンライズが高く推移した。

※「土中(5cm)」と「空間温度(土上と不織布の間)」の相関関係がなく、不明な点が多かったため、データは参考とする。

## モニター感想

全体的に収量・葉焼け・強度・作業など問題がなかったことから、パオパオと大きな差はないと考える。

また、海外製造品で価格がパオパオより安いと、魅力的である。(営農コストの引き下げ)

今回の試験は初年目のため、サンライズが何年使えるかわからない。

継続して使用し、パオパオと同等の耐久性があるなら今後検討していきたいと考えている。(パイパオは5年程度使用)

## JA担当者の感想(営農推進課 西海センター長)

### 【営農推進課】

パオパオも気象条件(温度・風・雨など)や新しく購入したタイミングで葉焼けの可能性は必ずあるため、サンライズに限ったことではない。既存品と比較し、違いを理解してもらった上で使用してもらいたい。この地区では2年間試験を行い、葉焼け等の大きな問題は発生しなかった。今後、使用年数がパオパオと比較して同等以上であれば購入者が増えていくと考える。また、製品紹介のため、サンライズのパンフレットを作成してほしい。

### 【真狩生産資材拠点センター】

作物の葉焼けを心配していたが、2年間のサンライズ試験で発生しなかったため、パオパオと比較しても製品に大きな差はないと考える。購入希望者には試験結果を基に製品説明を行い、販売していきたい。

不織布のべた掛け期間中は、温度、風、雨、日照などの兼ね合いで葉焼けが発生するため、今後も注意喚起を行ってきたい。

## 今後の使用について

継続して使用したい。  
今回、使用したサンライズを何年使用できるか確認する。